



# 松林小だより

令和3年7月20日  
学校便り No.5  
羽村市立松林小学校

東京都羽村市羽4122-2 電話 042-554-7800

## 夏休み

校長 鳥居 夕子

明日から、36日間の夏休みが始まります。今年はその夏休み期間のほとんどを緊急事態宣言下で過ごすことになってしまいましたが、一方で、世界のトップアスリートが集う祭典、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。開催に際しては、未だにその賛否についての論争は絶えません。しかし、子供たちには、この大会を通して、夢や希望、憧れを抱いてもらいたいものです。画面越しでの観戦にはなりますが、世界で活躍するトップアスリートの鍛え抜かれた身体能力や世界の頂点に挑む姿を心に焼き付けてもらいたいと思います。

さて、この夏休みですが、何より大切にしてもらいたいのは「命を守る」ことです。山や、川、海など、自然の中には、子供たちだけでなく、我々大人にとっても魅力的な遊び場がたくさんあります。大人と出掛けていても事故は起こり得ますが、子供たちだけでは万が一の時にその対応が遅れてしまいます。子供たちだけでそうした場所へ出かけることのないようにお声掛けください。

また、夏休みは学びが充実する時期です。「自分のペース」で学びを深めたり、すすめてもらいたいと思います。その教材として、夏休みの課題が出されています。課題を終えるまでに与えられた時間は36日間、時間に換算すると864時間です。この時間をどう使うか、ご家庭で、夏休みの始まりに計画を立てていただくとうまいと思います。特に6年生は9月になれば、あと半年ほどで中学生です。中学校での学習は、小学校での学びからのつながりです。小学校の学習が身に付いていないと、楽しいはずの中学校生活に始めからつまずいてしまうことにもなりかねません。学校からの課題をすすめる中で、わからないことがあれば、この時期に解決しておきましょう。その時に使えるものとして、「教科書」をおすすめします。わからないことがあったら、そのページに戻って、書かれている内容をよく読んでみてください。そこには、重要なポイントが太字で書かれていたり、また、例題やヒントがあったりします。教科書はとても親切にできています。できるだけ、わからないことを自分の力で解決しようとチャレンジすることが大切です。それこそが「主体的な学び」となり、確かな学力につながっていきます。

夏休みにしかできない体験や学び、それらを楽しむためにもできるだけ夏休み前の生活リズムを崩さないように「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を大切にしてください。8月26日、一人一人の子供たちが心身共にたくましく成長し、キラキラとした表情で再び登校してくれることを心待ちにしています。



3年生の「サマーフェスティバル」自分たちで考えた夏祭りの夜店。最後はソーラン節で盛り上がりました！みんなの楽しそうな表情、笑顔をずっと見ていたかったです。